

仙台市教員プレゼミナール

共に踏み出すはじめての一步 ~あなたを待っている
子供たちがいる~

第1回 「共に踏み出すはじめての一步」

令和5年11月15日(水)発行

仙台市教育委員会 教育センター若手教員支援室

今年もプレゼミナールがスタートしました！！

令和5年11月11日(土)仙台市教育センターにて、令和5年度仙台市教員プレゼミナールの第1回を開催しました。仙台市教育委員会としては昨年度に引き続き2度目の取組です。

このプレゼミナールは、4月に初めて教壇に立つ教員(令和6年度採用候補者名簿登載者や臨時的任用教育職員登録予定・希望者等)が、年度始めに必要な初歩的な事柄を学ぶことにより、仙台市の教員として仕事に見通しを持ちながら安心してスタートできることを目指しています。このことが、新年度が始まる中で、児童生徒が新たな環境で生き生きと学校生活を送ることができるにとらえています。

3月までに8回開催されますが、自分の必要に応じて参加する回を選択します。11月13日現在、小学校69名、中学校・高等学校27名、養護教諭5名、計101名の参加希望がありました。

第1回のテーマは、「共に踏み出すはじめての一步」です。参加者は60名でした。

1 「共に踏み出すはじめての一步」

開講にあたり、仙台市教育センター所長より挨拶がありました。

先生の仕事に見通しを持ち、子どもに笑顔で寄り添えることを目指し、また、4月から教壇に立ったときに、同じ思いでいる仲間とのつながりが大きな支えとなることなど、プレゼミナールのタイトル「共に踏み出すはじめての一步」に込めた思いを受講生に伝えました。



2 「社会人としての常識・マナー等」



社会人としての第一歩は、マナーを身に付けることです。そして、相手を思いやり尊重する気持ちを持つことが大切です。様々な立場の人と関わるために大切な相手意識について、挨拶や職員室での電話対応など具体的な事例を通して学びました。学校では教員として、児童生徒はもちろんのこと、保護者や地域の方々とも関わる機会が多くあります。今回は、職員室での電話対応について、指導主事の実演を基に自分たちでも実際に電話の対応を行い、学びを深めていきました。

3 「教職の理解及び教員の職務、服務」

主に地方公務員法に定められた職務上・身分上の義務についての学びでした。

最初に、正式採用・任用時に提出する「宣誓書」に署名する意味について、キーワードを通して一人一人がしっかり学ぶことができました。

また、「信用失墜行為の禁止」については、交通事故を起こした場合の対応や年度初めの個人情報の取り扱いについて演習等を通して気を付けなければならない点をしっかり確認しました。



4「同期の仲間との情報交換①」



自己紹介からスタートし、「先生になることへの期待と不安」「4月までにこれだけはおきたいこと」等について、グループに分かれて情報交換を行いました。前半の講義でもグループでの話し合いがあり、終始和やかな雰囲気の中で話も進みました。

《受講者の声》

○近い未来同期となる方々や講師の先輩方と深いコミュニケーションを取ることができた、とても良い機会だったと感じています。電話対応や挨拶など実践的な内容も第一回から盛り込まれていて、今回以上に次回からより実践的なことが学べると思うと今からワクワクが止まりません。残り7回全部に出席する予定なので今後とも楽しく学びのある教員プレゼミナールを何卒よろしくお願い致します。

○初回のプレゼミナールに参加し、同期となるみんなと話し合ったことで、とても楽しい時間を過ごすことができました。採用が決まってから、4月からのことで不安に思うことが多々ありました。子どもたちと会えるという楽しみはもちろんあるのですが、不安も大きいです。しかし今日、同じく採用となった同期のみんなと話すことで、さらに楽しみが増えました。はじめは緊張していた私たちも、話していくうちに表情が明るくなり、短い時間ではありましたがいろいろなお話ができました。大学も異なり、4月からの赴任校もそれぞれとは思いますが、今日の出会いを大切にしながら4月から頑張っていきたいと思います。本日はありがとうございました。今後のプレゼミナールもよろしくお願いいたします。

○同じ大学以外の同期と話す機会がなかったため、初めて、お互いの不安やこれから期待すること、これから4月までにどんなことをしていきたいかを話し合うことができました。みんな不安に思っていることが共通しているため、「自分ひとりだけが不安に思っているわけではないんだ」と、それだけでも少し安心できました。教員として4月から良いスタートを切ることが出来るように、これからもこのプレゼミナールを活用して、情報共有をして、少しでも不安を解消していきたいと思いました。ありがとうございました。

○最初の社会人のマナーに関する講義では、電話対応の仕方も具体的に知ることができ、不安が軽減されたと感じました。教職に関する講義では、信用失墜行為に該当する行為をしないためにどのような取り組みができるか、もし事故を起こしてしまったらどうするかなどを具体的に考えることで、教員として持つべき自覚が強まったと感じました。情報交換の時間には、初対面の方とも交流を深めることができ、今後、教師になった際に悩むことがあっても共感し支え合える仲間がいることの安心感を得ることができました。初回でも多くの人と関わることができたため、これからのプレゼミナールでも多くの受講者と話し、より幅広いネットワークを持つことができればと思います。

○教職を目指す方々とお互いに期待することや不安なこと、4月までにしておきたいことを話したことでより具体的に自分自身の今後をイメージすることができました。電話対応についても実際に想定場面で演習することで、積極的に電話対応をしていきたいと思うようになりました。今回のプレゼミナールを通して、多くの方々と交流できたことが特に嬉しかったです。これからも気軽に相談できる人とのつながりができたということはとても貴重であり、大切にしていきたいと思います。また、今後教育現場に入っても、積極的に自分から交流することで不安や悩みを解決したり、やりがいを感じていきたいと思います。

○初めてのプレゼミナールでとても緊張していましたが、会場に入ったときの温かい空気感ですぐに場になじむことができました。こうして同期の人たちと出会える環境というのはなかなかないと思うので、次回以降のプレゼミナールも楽しみにになりました。講話の中では社会人として、教師として必要なマナーや倫理観を学ぶことができました。確かに、公務員という仕事は常に周りで見られ、責任感が必要な職業だと思います。しかし、やはり子供の成長や未来に携わることのできる素晴らしさは何者にも変え難いと思い、改めて教師という仕事の魅力を感じることができました。同期と情報交換をしたことを踏まえて、4月までの自分の成長に繋げたいと思います。

プレゼミナールは、3月まで残り7回あります。いつでも参加申込はできます。関心を持たれた方はお申し込みください。第2回「児童生徒・保護者と向き合う」は、11月25日（土）開催です。